

ヘボン式ローマ字綴方表

ア	A	イ	I	ウ	U	エ	E	オ	O
カ	KA	キ	KI	ク	KU	ケ	KE	コ	KO
サ	SA	シ	SHI	ス	SU	セ	SE	ソ	SO
タ	TA	チ	CHI	ツ	TSU	テ	TE	ト	TO
ナ	NA	ニ	NI	ヌ	NU	ネ	NE	ノ	NO
ハ	HA	ヒ	HI	フ	FU	ヘ	HE	ホ	HO
マ	MA	ミ	MI	ム	MU	メ	ME	モ	MO
ヤ	YA			ユ	YU			ヨ	YO
ラ	RA	リ	RI	ル	RU	レ	RE	ロ	RO
ワ	WA	ヰ	I			ヱ	E	ヲ	O
ン	N(M)								
ガ	GA	ギ	GI	グ	GU	ゲ	GE	ゴ	GO
ザ	ZA	ジ	JI	ズ	ZU	ゼ	ZE	ゾ	ZO
ダ	DA	ヂ	JI	ヅ	ZU	デ	DE	ド	DO
バ	BA	ビ	BI	ブ	BU	ベ	BE	ボ	BO
パ	PA	ピ	PI	プ	PU	ペ	PE	ポ	PO
キャ	KYA			キュ	KYU			キョ	KYO
シャ	SHA			シュ	SHU			ショ	SHO
チャ	CHA			チュ	CHU			チョ	CHO
ニャ	NYA			ニユ	NYU			ニョ	NYO
ヒャ	HYA			ヒユ	HYU			ヒョ	HYO
ミャ	MYA			ミュ	MYU			ミョ	MYO
リャ	RYA			リュ	RYU			リョ	RYO
ギャ	GYA			ギユ	GYU			ギョ	GYO
ジャ	JA			ジュ	JU			ジョ	JO
ビャ	BYA			ビユ	BYU			ビョ	BYO
ピャ	PYA			ピユ	PYU			ピョ	PYO

※参考

シェ	SHIE	チェ	CHIE	テイ	TEI	ニイ	NII	ニエ	NIE
ファ	FUA	フィ	FUI	フェ	FUE	フォ	FUO	ジェ	JIE
デイ	DEI	デュ	DEYU	ウィ	UI	ウエ	UE	ウオ	UO
ヴァ	BA	ヴィ	BI	ヴ	BU	ヴェ	BE	ヴォ	BO
ヴァ	BUA	ヴィ	BUI			ヴェ	BUE	ヴォ	BUO

※注意 「ヴァ:VA」「ヴィ:VI」「ヴ:VU」「ヴェ:VE」「ヴォ:VO」は使用不可

【ヘボン式ローマ字表記へ変換する際の注意事項】

1. 撥音：B、M、Pの前の「ん」は、NではなくMで表記します。
例：難波（ナンバ）NAMBA、本間（ホンマ）HOMMA、三瓶（サンペイ）SAMPEI
2. 促音：子音を重ねて表記します。
例：服部（ハットリ）HATTORI、吉川（キッカワ）KIKKAWA
ただし、チ（CHI）、チャ（CHA）、チュ（CHU）、チョ（CHO）音の前には「T」を表記します。
例：発地（ホッチ）HOTCHI、八丁（ハッチョウ）HATCHO
3. 長音：OやUは記入しません。
※長音表記を希望する場合には、下記【ヘボン式によらないローマ字氏名表記】を参照してください。
「ー」を省略する場合

例：ニーナ（ニーナ）NINA、シーナ（シーナ）SHINA、サリー（サリー）SARI

「イ」を省略しない場合

例：新菜（ニイナ）NIINA、しいな（シイナ）SHIINA、さりい（サリイ）SARII

「ウ」を含む長音「ウウ」の場合（「UU」は表記しません。）

例：日向（ヒュウガ）HYUGA、裕貴（ユウキ）YUKI、優子（ユウコ）YUKO

「オ」を含む長音「オウ」の場合（「OU」は表記しません。）

例：幸太（コウタ）KOTA、洋子（ヨウコ）YOKO、亮子（リョウコ）RYOKO

「オ」を含む長音「オオ」の場合（「OO」は表記しません。）

例：大野（オオノ）ONO、大河内（オオコウチ）OKOCHI、大西（オオニシ）ONISHI
末尾が「オオ」音で、ヨミカタが「オ」の場合（「OO」と表記します。）

例：妹尾（セノオ）SENOO、高藤（タカトオ）TAKATOO、横尾（ヨコオ）YOKOO
末尾が「オウ」音で、ヨミカタが「ウ」の場合（「OU」とは表記しません。）

例：伊藤（イトウ）ITO、高藤（タカトウ）TAKATO、御園生（ミソノウ）MISONO

4. 「ヴ」のつく氏名例

例：ヴィヴィアン（ヴィヴィアン）BUIBUIAN 又はBIBIAN、
ヴォードレル（ヴォードレル）BUODORERU 又はBODORERU

【ヘボン式によらないローマ字氏名表記】

1. 国際結婚や両親のいずれかが外国人、又は二重国籍等により、外国式の名前をヘボン式ローマ字以外の表記で記載することを希望する場合には、その綴りが実際に使用されていることを示す書類（出生証明書、婚姻証明書、配偶者や父母の外国旅券等）の提出をお願いしています。
2. 上記以外でヘボン式によらないローマ字表記（長音「OH」表記等）を希望するには、予めご相談ください。
例：伊藤（イトウ）ITOH、大野（オオノ）OHNO
3. パスポートを一度取得された後の表記の変更については、原則変更できません。

【別名併記】

外国で旧姓での活動実績があり、旧姓表記でないと支障が生じる場合など、渡航にあたり旧姓などの別名も併記する必要がある場合、その必要性が確認できる書類等の提出をお願いしていますので、予め申請窓口にご相談ください。